



このマーク(複十字)は、世界共通の結核予防運動の旗印です。

愛媛開催
62年ぶり

全国から集結

結核予防全国大会レポート



複十字運動キャラクター シールぼうや



許諾番号:407021
愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん

Ehime といえ



夏目漱石



正岡子規

令和8年3月に、77回目の結核予防全国大会が愛媛県松山市で行われました。

結核予防全国大会とは？

全国の結核予防関係者が集まり結核対策の将来に向けて討議する場であり、結核関係者にとって最も重要な大きな大会です。

第77回テーマ 「昭和百年の歩み、 愛媛から未来へ、正岡子規の 精神を踏襲」の由来

1923年に日本結核病学会が北里柴三郎により設立されてから約100年の今、結核を患いながらも俳句・短歌の創作活動に励み日本の俳句・短歌界に革命を起こした正岡子規の故郷愛媛での開催ということで、このテーマに決まりました。

【第77回】
結核予防
全国大会

昭和百年の歩み、愛媛から未来へ
正岡子規の精神を踏襲

開催日 令和8年3月17日(火)・18日(水)
開催場所 ANAクラウンプラザホテル松山 愛媛県松山市一番町3-2-1
主催 愛媛県、公益財団法人結核予防会、公益財団法人愛媛県総合保健協会
共催 厚生労働省
特別後援 松山市

この大会に込められた思い 子規の精神を今に 愛媛から広がる結核予防の輪

この地、愛媛に息づくひとつの志
明治の世に生まれた俳人正岡子規自らの病を象徴する「子規」という俳号を掲げ、結核に立ち向かい、創作への情熱を燃やし続けたその不屈の精神こそ、私たちが受け継ぐべき志その志は、今もこの地に息づいている

結核予防、そして検診推進
愛媛県総合保健協会は、県・市町・医療機関と連携しながら、県民の健康を守り続けています
その中心となっているのは、2022年から取り組んでいる大規模なメディアプロモーション
テレビ、ラジオ、新聞、SNSを通じて健診の大切さを県民へ子供から大人まで健康意識が高まっています
それは地域の力と協会の情熱が結んだ成果です
全国から集う結核予防の志 この地、愛媛で心をひとつに共に学び、未来へつなぐ
歴史と文化、自然の恵み この地、愛媛に全国の志が集う
ようこそ愛媛へ

その不屈の精神こそ

自らの病を象徴する「子規」
結核に立ち向かい
創作への情熱を燃やし続けた

この地、愛媛に息づく
ひとつの志

